

# 令和3年度 ひばり認定こども園自己評価結果

## 1. 教育・保育の目標

園児一人一人に応じた教育・保育を一体的に行い、心身ともに健康で明るく、たくましい子を育てる。

### ■ 目指す子どもの姿

- げんきにあそぶ子
- あいさつのできる子
- おもいやりのある子
- じぶんのことはじぶんでできる子

## 2. 重点的に取り組む目標・計画

- 保育教諭の資質向上を図り、今年度は全保育教諭で園内研修を進めていく。また、外部研修にも積極的に参加していき、最新の保育・幼児教育について知識を深めていく。
- 危機管理マニュアルの見直しや、全体での共通理解を図る。また、園児自身が「生き抜く」とともに「安全な社会をつくる」ための知恵と行動力を身に付けていける安全教育に取り組んでいく。加えてコロナウイルス感染予防対策を徹底する。
- 保育内容や行事等、生活スタイルの変化や保護者のニーズの多様化も踏まえて情報の発信の仕方を工夫し、保護者と連携を取りながら進めていく。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
P・D・C・Aサイクルを意識した指導計画	B	・ P・D・C・Aサイクルを意識して指導計画の作成に努めたが、まだ研鑽を積んでいきたい。
安全対策・事故防止	C	・ 学年毎に安全面での配慮があったが、手作り遊具においては乳児組の使用も予測していく必要がある。
コロナウイルス感染予防対策	C	・ 保育室や玩具の消毒や園児のマスク着用など、感染症予防に努めたが、1月には休園となってしまった。感染力が強いため、より慎重な対策が必要となった。
HPの更新	C	・ 各クラス月1回の更新を目標にしていたが、難しい月もあった。
子育て支援	B	・ コロナウイルスの感染拡大のため、個人懇談、保育参観等の実施が出来ないこともあった。 ・ 行事ごとに、アンケートを実施した。

※評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
感染症予防について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健計画や園児の生活について見直し、体調のすぐれない園児への対応や、マスクの着用や手洗い・うがい、手指消毒等の予防策を徹底する。</li> <li>・町内の園同士で連絡を取り合い情報共有する。</li> </ul>
組織・運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士での伝達等、連携を強め、業務のスマート化や円滑化を図る。また急な職員の欠員や、休暇等にも無理なく対応できるようにする。</li> </ul>
子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の影響で、個人懇談等が実施できないことが予想される。年間を通して、年齢毎の子どもの特徴や関わり方等、個々の家庭に寄り添いながら子育ての助言や、個々に応じた対応の仕方を一緒に考えていく。</li> </ul>
教育環境整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度はなかのご認定こども園と統合となる。保育室、園庭の環境、教材等、見直しや改善を行いながら整備していく。</li> </ul>

令和4年3月31日

評価者

那珂川町立ひばり認定こども園

園長 高橋 和子